

患者さんへ

「S-1 による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤(エレンタール)の有用性に関する第Ⅱ相臨床試験 (OGSG1108) の追加観察研究 OGSG1108 Follow」について

1. はじめに

臨床研究とはより良い診断や治療のために医学的なデータを得るさまざまな研究のことを言います。今回の研究は、診療記録・画像検査・血液検査等の情報を用いて調査する研究です。

2. 研究について

【目的】「S-1 による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤（エレンタール）の有用性に関する第Ⅱ相試験」における長期治療成績（全生存期間）の評価、および、エレンタール受容性の予測因子を探索する。

【対象】2012年2月8日～2015年7月24日までに当院において「S-1 による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤（エレンタール）の有用性に関する第Ⅱ相試験」に参加された方

【研究に用いる試料・情報の種類】

試料：なし

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、手術日、術式、病期、血液検査結果、病理検査結果、エレンタールコンプライアンス、S-1 治療コース数、全生存期間など

【研究に用いる試料・情報の提供方法】

提供先：市立豊中病院 提供方法：データ

【提供する試料・情報の取得の方法】

【研究予定期間】2023年10月17日 ～ 西暦2024年9月30日

【研究代表機関・研究代表者】市立豊中病院 柳本 喜智

【共同研究機関・研究責任者】

八尾市立病院	川田純司	JCHO 星ヶ丘医療センター	永井健一
大阪急性期・総合医療センター	本告正明	日本生命病院	生島裕文
市立東大阪医療センター	松山仁	大阪医療センター	竹野淳
市立豊中病院	柳本喜智	市立貝塚病院	高山治
堺市立総合医療センター	川端良平	大阪警察病院	西川和宏
関西医科大学附属病院	井上健太郎	西宮市立中央病院	足立真一
医学研究所北野病院	上田修吾	大阪国際がんセンター	大森健
JCHO 大阪病院(大阪厚生年金病院)	出村公一		

3. プライバシーの保護

この研究で得られた情報を取りまとめるために、共同研究機関にあなたの情報を提供しますが、あなたを特定できる情報は記載しません。また、この研究結果は学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、個人が特定できないように配慮され、あなたのお名前や住所などが明らかになるようなことはありません。

4. 研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

5. 当院の研究責任者への連絡

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく研究責任者に申し出てください。

担当（診療科・部署）：星ヶ丘医療センター 外科

研究責任者：永井 健一

連絡先電話番号：072-840-2641

6. 試料・情報の提供を行う機関の名称とその長の氏名（試料・情報の管理責任者）

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 院長 細野 昇